

長崎市神浦地区で「昔の懐かしい街並み」を体感させるまちづくり

長崎市神浦地区は、長崎市街地から北部に約 10Km、角力灘に面した場所にあり、日本の棚田百選に選ばれた「大中尾棚田」など、豊かな自然や景観を供えています。以前は港町、宿場町として栄えた時期もありましたが、現在では商店街の活気も失われた状況です。

このような状況を踏まえ、地域資源・自然・歴史等の神浦地区が持つ魅力を発信するとともに、外部からの来客者がマップを片手に楽しく「昔の日本の懐かしい街並み」を体感でき、また地元住民が自分の街に愛着を持ってもらえるよう、市民参加による観光まちづくりの社会実験を実施しました。

まちづくりのための手法として「通り名」を取り入れ、民・学・官の協働で地域資源を発掘し、地域の歴史や資源をストーリー化し、回遊のルートづくりやまち歩きを楽しむことを掲載したマップづくり、景観づくりを行いました。

回遊のストーリーづくりまた、「通り名」の命名にあたっては、地域住民が一同に会し、地域の歴史・文化等を掘り起こしながら「通り名」を命名するなど、プロセスを通じて地域のコミュニティの再生を図りました。



「通り名」を活用した住民・行政協働のまちづくりプロジェクトを実践



←クリックで PDF ファイルがダウンロードできます。



▲住民で命名した通り名のほか、「豆腐屋にボウルを持って豆腐を買いに行こう！」といった、昔の日本の生活を感じさせる地元のロコミ情報を掲載した手づくりマップを作成しました。

▲プレートは、地域の景観にあった色・デザインを検討し、地域の商店や住宅に設置協力を呼びかけ取り付けました。

▲「通り名」の命名や、マップの作成にあたっては、地域住民が一同に会するワークショップを開催しました。

アンケート調査結果

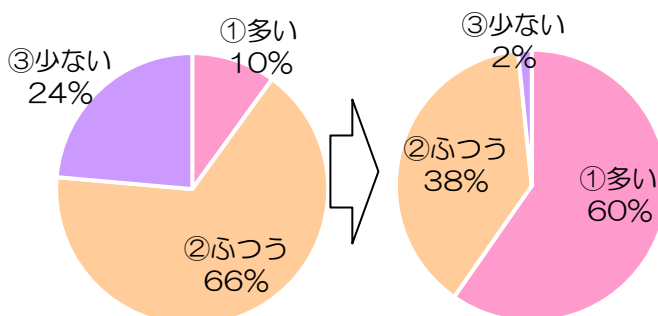
通り名マップに対する評価を把握するため、アンケート調査を行いました。

1. 実施期間 : 平成 21 年 3 月 21 日、22 日
2. 実施方法 : 調査員による対面式調査
3. サンプル数: 238

n=238

n=238

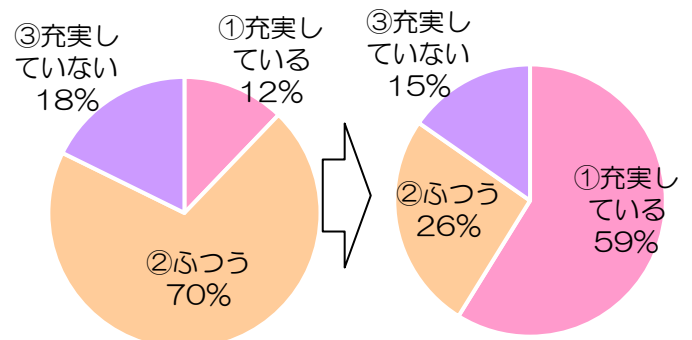
問. 地図掲載の観光情報の量



従来観光地図

社会実験作成地図

問. 地図掲載の観光情報内容の質



従来観光地図

社会実験作成地図